

第1回TOMIURAさざなみ大会千葉県予選会における 新型コロナウィルス感染症拡大防止マニュアル

千葉県バスケットボール協会
U12部会長 大橋 一樹

＜参加者（選手・スタッフ・保護者）に求める感染拡大防止のための措置＞

- 1) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。
→ 会場への来場も見合わせ、自宅や指定場所での待機を求める。
 - ①体調がよくない（発熱、咳、咽頭痛などの風邪の症状がある）
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。
- 2) マスクの着用
→ 「受付」「着替え」などのスポーツを行っていない際や会話する際にはマスクの着用を求める。
- 3) 各自の感染予防
→ 「こまめなうがいや手洗い」「アルコール消毒」など手指消毒の実施を求める。
→ 他の参加者やスタッフとの距離の確保を求める。
→ 大会中に「大きな声での会話」「大きな声での応援」をしないように求める。
- 4) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら「健康チェックシート」の提出を求める。
- 5) 大会終了後2週間以内に「新型コロナウィルス感染症」を発症した場合には、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告を求める。

＜健康チェックシートの提出フロー＞

※大会参加チーム・選手・スタッフにおいて必ず会場受付にて、提出のこと。提出のないチーム・選手は、参加辞退を求める。

- 1) 大会予選（6月27日）・2日目（7月3日）まで
 - ①大会参加者は、「健康チェックシート」に大会当日までの内容を記入。
 - ②大会参加者は、チーム責任者に「健康チェックシート」を提出。
 - ③チーム責任者は、自チーム関係者（大会会場に来場する者、保護者含む）の「健康チェックシート」をまとめ会場責任者に報告し、日程終了まで保管する。
 - ④チーム責任者は、当日の日程終了後「健康チェックシート」を自チーム関係者に返却する。
 - ⑤大会参加者は、「健康チェックシート」を受け取り、保管する。

※感染者が参加者で出た場合、シートの提出を求める場合がありますので、3か月は廃棄せず保管願います。
- 2) 大会最終日（7月4日）
 - ①大会参加者は、「健康チェックシート」に大会当日までの内容を記入。
 - ②大会参加者は、チーム責任者に「健康チェックシート」を提出。
 - ③チーム責任者は、自チーム関係者（大会会場に来場する者、保護者含む）の「健康チェックシート」をまとめ会場責任者に提出。
 - ④大会責任者は、大会参加者の「健康チェックシート」をまとめ3か月保管する。

※最終日まで、残ったチームは合わせて3枚のシートを提出することになります。

＜大会前＞

- 1) 【参加予定者】体調管理を2週間前より実施。個人情報の提供をお願いする。
- ➡ 別紙「健康チェックシート」への記入。(大会当日チーム責任者に提出)
- ①平熱を超える発熱がない（ある場合は体温を記入）
 - ②咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない
 - ③だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない
 - ④臭覚（しゅうかく）や味覚（みかく）の異常がない
 - ⑤体が重く感じる、疲れやすい等がない
 - ⑥新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない
 - ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない
 - ⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない

2) 【会場責任者・主催者】感染予防のための準備

- ➡ 手洗い場所の確保
- 1 出入り口にアルコールなどの手指消毒剤を用意 【主催者にて】
 - 2 水飲み場に石鹼（ポンプ型）の用意 【主催者にて】
 - 3 「手洗いは30秒以上」の掲示を準備し掲示する 【会場校にて】
- ➡ 更衣室の確保
- 1 広さはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける
 - 2 複数の参加者が触れるところは消毒する 【日程終了後】
 - 3 換気に注意し、窓やドアの開閉換気扇は常に使用する
- ➡ トイレ・洗面所の確保
- 1 手洗い場に石鹼（ポンプ型）の用意 【主催者にて】
 - 2 複数の参加者が触れるところは消毒する 【日程終了後】
 - 3 「手洗いは30秒以上」の掲示を準備し掲示する 【会場校にて】
- ➡ 保護者の管理
- 1 保護者同士が密な状況にならないよう、予め客席を減らす・椅子を出さないなどの対応をとる
 - 2 大声での声援を送らないことや会話を控えること
 - 3 会話するときは「マスク」を着用することなどを周知する
- ➡ ゴミの廃棄
- 1 会場内のごみ箱について
会場内（更衣室・トイレ等含む）のごみ箱は使用させない
 - 2 ごみを回収する人は、マスクや手袋を着用し、作業後石鹼で手を洗う
ごみの回収は会場責任者・主催者が行う
参加者・選手にごみの回収はさせない（会場校にて廃棄）

3) 【会場責任者・主催者】感染予防の行動の推進

- ➡ 感染予防啓発ポスター等の準備【会場校にて】

- ①マスク着用の徹底
- ②手洗い励行の呼びかけ
- ③アルコール消毒の徹底

4) 【主催者・大会責任者】会場に準備しておくもの（例）

➡ 「感染拡大予防法」

- | | |
|------------------------|---------|
| ①手指消毒用アルコールスプレー（各会場1本） | 【主催者にて】 |
| ②使い捨てビニール手袋（各会場1人分） | 【主催者にて】 |
| ③ごみ袋（各市町村指定の大袋1枚程度） | 【会場校にて】 |
| ④除菌用アルコールスプレー（各会場1本） | 【主催者にて】 |
| ⑤ぞうきん（3枚） | 【会場校にて】 |
| ⑥ペーパータオル（必要に応じて） | 【会場校にて】 |

＜大会中＞

1) 【参加予定者】体調の管理を実施

➡ 発熱や体調不良がある場合には、チーム責任者を通じて大会本部に報告するとともに、他の選手と離れた場所で看護する。
・咳を伴う発熱の場合は、他の参加者から隔離し安静にさせる
・直ぐに保護者にチームより連絡し、迎えにきてもらう

2) 【主催者】会場での3密の回避

- ・窓、ドアを常時開放し、空気の入れ替えを行う。扇風機などがあれば設置する
 - ・「コート」の変更など
- | | |
|------------|----------------------------------|
| ①T.O席の拡大 | 長机を多く設置 |
| ②ベンチエリアの変更 | 椅子の数の縮小、椅子はスタッフ用のみなど |
| ③応援席の変更 | 椅子の数の縮小または、置かない。
保護者・選手の入場の制限 |

➡ 会場内の人数が増加し、「3密」の状態が一つでも確認された場合、主催者は速やかに館内の3密状態を回避させる。
・試合間の移動については、接触を防ぐように指示を出し、入れ替えを行う。
(予選は試合数も減るので、間の時間を取る)

＜大会後＞

1) 【主催者】参加者の体調のフォローアップを実施

- ・大会終了後、2週間以内に「新型コロナウィルス感染症」を発症した場合には、チーム責任者を通じて主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告する。

2) 【主催者】チェックシートの保管

- ・大会最終日、チーム責任者を通じて提出された参加者の別紙「健康チェックシート」は最低でも3か月保管する。※
※3か月後に発症者がいない場合には、「健康チェックシート」を個人情報記載文書扱いとしてシュレッダー処分を行うこととする。

3) 【主催者】使用会場の清掃と除菌

- ・大会終了後、以下の箇所について除菌作業を行う。
①体育館内にあるドアノブ ②扉の開閉時に触りそうな場所
③パイプ椅子 ④長机
⑤トイレ・水飲み場の蛇口・洗浄ボタンなど
⑥照明などのスイッチ ⑦その他、試合で使用した器具

＜その他＞

1) マニュアルの変更について

千葉県、会場校市町村より発出される要請の内容に基づいて変更されることがあります。変更された場合は、(一社)千葉県バスケットボール協会U12カテゴリー部会ホームページを通じて連絡します。